



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場会社名 富士製薬工業株式会社
コード番号 4554 URL <http://www.fujiipharma.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今井 博文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 上出 豊幸

TEL 03-3556-3344

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日

平成25年6月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	11,996	—	1,609	—	1,734	—	1,088	—
24年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 1,607百万円 (—%) 24年9月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年9月期第2四半期	77.06	—
24年9月期第2四半期	—	—

(注) 平成25年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	38,833	—	23,437	—	—	60.4
24年9月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 23,437百万円 24年9月期 一百万円

(注) 平成25年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年9月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年9月期	—	18.00	—	19.00	37.00
25年9月期	—	18.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	22.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	25,975	—	3,575	—	3,540	—	2,190	—	155.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) OLIC (Thailand) Limited 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	14,120,000 株	24年9月期	14,120,000 株
25年9月期2Q	67 株	24年9月期	67 株
25年9月期2Q	14,119,933 株	24年9月期2Q	14,119,933 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成25年9月期第1四半期より連結決算へ移行いたしました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については[添付資料] P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※金額単位の変更について

当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は平成24年10月1日付で、OLIC (Thailand) Limited (タイ王国、以下「OLIC社」) を既存株主からの株式買取により子会社化(発行済株式の99.91%を取得)しております。

なお、当第2四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き中国をはじめとする新興国の景気減速懸念などにより先行き不透明な状況が継続しておりますが、新政権への政策期待や金融政策などにより過度な円高が修正に向かい、株式市場では株価が上昇するなど景気浮揚に向けて明るい兆しが見えております。

医療用医薬品業界におきましては、引き続きジェネリック医薬品の使用促進が進もうとしておりますが、国内新薬メーカーや外資製薬メーカー等によるジェネリック医薬品市場への参入が活発化するなど、企業間競争は益々厳しくなっております。

このような状況のもと、当社は、平成24年11月21日、遺伝子組み換えヒト顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)製剤「フィルグラスチムBS注シリンジ『F』」の製造販売承認を取得いたしました。本製剤は、遺伝子組み換えヒト顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)製剤で、フィルグラスチム製剤のバイオ後続品として国内で初めて承認されました。本剤が、国内初のバイオ後続品G-CSF製剤として、好中球減少症治療等の新たな選択肢となり、患者様のQOL向上に貢献できるものと考え、今後の上市に向けて全社で取り組んでおります。

また、平成25年4月には、研究開発の効率化・高度化に向け建設を進めておりました研究開発棟が完成し、業務を開始いたしました。本研究開発棟の竣工により、中期経営計画に掲げております「研究開発を真ん中にした事業運営体制の構築」を加速させ、中長期の戦略パイプラインの充実をより一層進めて参ります。

営業面におきましては、重点領域である産婦人科領域において、新薬「ルナベル配合錠」(子宮内膜症に伴う月経困難症・機能的月経困難症治療薬)の販売に注力するとともに、不妊症治療薬等の主力製品のシェア拡大を図っております。また、全国のDPC(入院医療包括評価)対象病院に向けては、新規開拓・取引拡大のための営業活動を積極的に展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,996百万円となり、営業利益は1,609百万円、経常利益は1,734百万円、四半期純利益は1,088百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は38,833百万円、純資産は23,437百万円となり、自己資本比率は60.4%となりました。

資産の部においては、流動資産は23,558百万円となり、その主な内訳は受取手形及び売掛金9,910百万円、現金及び預金4,901百万円です。固定資産は15,274百万円となり、その主な内訳は、建物及び構築物4,816百万円、OLIC社買取に伴うのれん3,299百万円です。

負債の部においては、流動負債は8,797百万円となり、その主な内訳は支払手形及び買掛金4,135百万円です。固定負債は6,597百万円で、その主な内訳は、長期借入金4,878百万円です。

純資産の部においては、純資産は23,437百万円となり、その主な内訳は、利益剰余金16,799百万円です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は5,406百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益1,730百万円に、売上債権の減少額604百万円、減価償却費587百万円などを加える一方、法人税等の支払額861百万円、仕入債務の減少額785百万円、たな卸資産の増加額393百万円があったこと等により、営業活動による収入は913百万円となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3,386百万円、有形固定資産の取得による支出2,110百万円があったこと等により投資活動による支出は5,788百万円となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金1,000百万円減少し、配当金の支払額267百万円があった一方、長期借入れによる収入5,850百万円があったこと等により、財務活動による収入は4,532百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、利益面につきましては、研究開発費を含む販売費及び一般管理費が当初見込みを下回って推移していることや為替差益の影響等により計画を若干上回っておりますが、通期の業績につきましては、上期で予定していた研究開発費を含む販売費及び一般管理費の一部が下期にずれ込むことを見込んでいるため平成25年2月14日に公表いたしました平成25年9月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間から、OLIC社を既存株主からの株式買取により連結子会社化(発行済株式の99.91%を取得)したことに伴い、OLIC社を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成25年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,901
受取手形及び売掛金	9,910
有価証券	505
商品及び製品	2,824
仕掛品	1,089
原材料及び貯蔵品	3,580
その他	757
貸倒引当金	△10
流動資産合計	23,558
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	4,816
その他(純額)	5,462
有形固定資産合計	10,278
無形固定資産	
のれん	3,299
その他	940
無形固定資産合計	4,239
投資その他の資産	
その他	756
貸倒引当金	△0
投資その他の資産合計	755
固定資産合計	15,274
資産合計	38,833
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	4,135
短期借入金	1,036
1年内返済予定の長期借入金	921
未払法人税等	601
賞与引当金	594
役員賞与引当金	12
返品調整引当金	8
その他	1,486
流動負債合計	8,797
固定負債	
長期借入金	4,878
退職給付引当金	1,178
その他	540
固定負債合計	6,597
負債合計	15,395

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成25年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	2,447
資本剰余金	3,672
利益剰余金	16,799
自己株式	△0
株主資本合計	22,918
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	28
為替換算調整勘定	490
その他の包括利益累計額合計	518
少数株主持分	0
純資産合計	23,437
負債純資産合計	38,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	11,996
売上原価	6,752
売上総利益	5,243
販売費及び一般管理費	3,634
営業利益	1,609
営業外収益	
受取利息	8
為替差益	122
受取手数料	2
受取補償金	1
業務受託料	6
その他	14
営業外収益合計	155
営業外費用	
支払利息	27
売上割引	2
その他	0
営業外費用合計	30
経常利益	1,734
特別損失	
固定資産除却損	3
特別損失合計	3
税金等調整前四半期純利益	1,730
法人税、住民税及び事業税	580
法人税等調整額	62
法人税等合計	642
少数株主損益調整前四半期純利益	1,088
少数株主利益	0
四半期純利益	1,088

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,088
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	28
為替換算調整勘定	490
その他の包括利益合計	519
四半期包括利益	1,607
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,606
少数株主に係る四半期包括利益	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年10月1日
至 平成25年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,730
減価償却費	587
のれん償却額	68
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	50
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息	27
為替差損益(△は益)	△125
売上債権の増減額(△は増加)	604
たな卸資産の増減額(△は増加)	△393
仕入債務の増減額(△は減少)	△785
その他	96
小計	1,794
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	△28
法人税等の支払額	△861
営業活動によるキャッシュ・フロー	913
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,110
無形固定資産の取得による支出	△372
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,386
その他	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000
長期借入れによる収入	5,850
長期借入金の返済による支出	△50
配当金の支払額	△267
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	73
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△269
現金及び現金同等物の期首残高	5,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,406

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、第1四半期連結会計期間よりOLIC社を連結の範囲に含めております。

なお、OLIC社の事業内容は、医薬品等の受託製造事業であり、当社グループが医薬品事業の単一セグメントであることに変更はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

薬 効	当第2四半期連結累計期間 自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日	
	金額 (百万円)	構成比 (%)
(製 品)		
診断用薬	4,622	38.5
ホルモン剤	2,479	20.7
循環器官用薬	472	4.0
抗生物質及び化学療法剤	354	3.0
泌尿・生殖器官系用薬	192	1.6
外皮用薬	133	1.1
その他	1,923	16.0
製品合計	10,179	84.9
(商 品)		
ホルモン剤	1,248	10.4
体外診断用医薬品	473	3.9
その他	94	0.8
商品合計	1,816	15.1
合 計	11,996	100.0

(注) 1. 当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであり、セグメント情報を記載していないため、薬効分類別販売実績を記載しております。

2. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

3. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

4. 平成25年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。